

測地基準点（三角点、水準点）の復旧測量

熊本地震は、広範な地域に最大で水平約1m、上下約2mの大きな地殻変動を及ぼした。位置の基準を定める測地基準点（三角点、水準点）も大きく変動して現況と合わなくなっており、被災地の災害復旧等の事業に必要な位置情報（緯度、経度、高さ）の提供が急務となっている。このため、測地基準点の再測量を実施し、災害復旧工事等で行われる公共測量が実施できるよう、基準点成果を8月末を目途に改定し、公共基準点のための補正パラメータを提供する。

我が国の位置の基準を定める測地基準点（三角点・水準点）

【三角点】

緯度、経度が正確に求められており、地図作成や道路建設等、公共事業を行う際に必要となる。

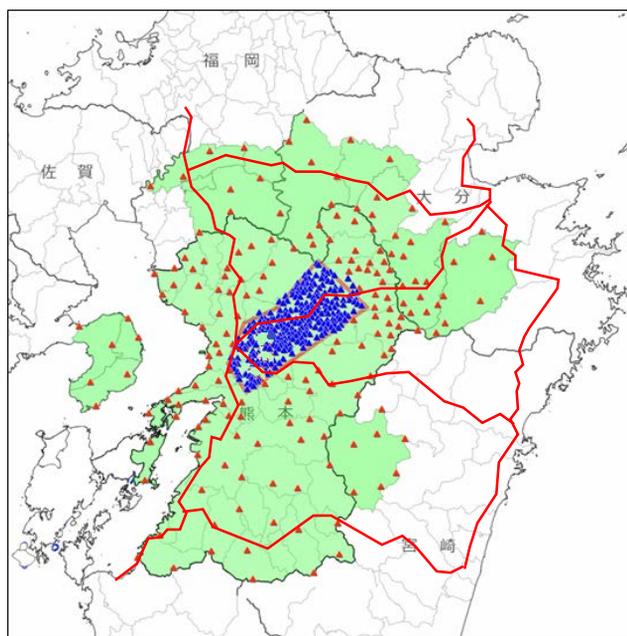


【水準点】

高さが正確に求められており、高さの測量を行うときの基準となる。土地の高さを精密に求めることができる。



復旧測量の実施範囲及び補正パラメータの提供範囲



■ 測地基準点が使用できない地域

- ・ 直接測量による改定 ▲▲ 463点
- ・ 補正パラメータによる改定 3,706点
(公共基準点に補正パラメータ提供)
- ・ 水準測量路線 ■■■ 1,036 km

測地基準点の復旧測量



三角点の復旧測量



水準点の復旧測量

効果

- ・ 地震後の改定された位置情報に基づいて、被災地の災害復旧等の事業が適切に実施できるようになる。
- ・ 我が国の測地基準点体系が適切に維持され、国民が継続的に正確な位置情報を利用することが可能となる。